

1. 原子力

なぜ放射線が人体に悪影響を及ぼすのかよく理解できていなかった。そんな状況で自分がそのことについて何か本を言う権利は無いと感じた。知りたくなって本を木の柵を乗り越えて本がないとどうしようもないと思った。この大学で、放射線の話をする時、毎回年もらう典型的なコメントです。もっと高校までの教育で学んでいいことだと思えます。もう少し詳しい話は、私の物理学概論のテキストにあります。

原子力発電での放射線が人間に害を起るとニュースでやっていたとき、なまじりか
 及ぶのか最初の方は理解していなかった。目に見えない線ということも赤外線のようなものなのかなと思ってた。わからなかつたので調べた
 周期表の2体高校の時にやったが、なまじりかたで性質がわかると知らなく、知れなかった、元素の周期表すげえなつかしいです

そして、大量に放射性物質が放出されてしまった今、元素の周期表の学ぶ意義も見直すべきだと思えます。どんな元素はどんな元素と性質が似ていて、人体のどこに取り込まれるのか。そんな観点が必要です。

原子力の危険性については色々と教わりました。科学的に、本当に変換のエネルギーを発生、開発おけると思える。もしも代替りの「効率的なエネルギー源」を求めるとすると、きっと、同じようなことが起こるように思えます。本当の意味での代替策が必要ですね。

今日の授業の内容はとて内容が興味深、その中で、原子力発電の
 関係の事、その中で3月11日のあの日は見かたが、そこ
 学んだ事がある
 JCO臨界事故の被ばく者、写真を見て、とて衝撃
 受けました。この日、事故があまりにも表れた
 ことは、とても危険な、恐、もったと思、ました。

地球には、多くの元素がある。その中には、体に入れてしまったり、死んでしまうものもある。配られたプリントの写真は、少ししか見えないけど、大きな被害を受けている
 放射線物質は、原子が分裂または融合したときに放出された質量を出している
 勉強したのですが、体の分子も壊すのはその放出された質量だというイメージ
 あつていいですか？おっ難しい話ですね！(核分裂では、質量欠損は起こりますが、核子の数は変わらないので、あまり質量にこだわらないほうがいいです。)

JCOの事故は特定の元素が体に毒だ、という話ではなく、原子炉内部と同じ状況を作ってしまった、そこで大量の放射線を浴びたのです。人災です！
 まず、原発があることで雇用ができた、交付金が多かったりしたのはそうです。また、反対していた人もいました。しかし、こうなってしまうのは事故前にお金をもらっていたとか、という話ではないことがわかんと思います。そもそも、福島に押し付けていたのは私たちです。

セッパリ 核兵器は悪い方が いいんじょ、はいか
 と思っ。戦争をしなければ、早くても 困る方がいいからだ

先生は「軍備を減らす」と言う人のほうが「勇気がお」
 おっしゃいますが、私は、その手の軍縮主義の人達が、人から善人に見られたい人が、日本が弱くなったほうが都合のいい国の人に見えれば、おそれません。先生の言おんとお事も分かりますが、そんな人は限りなく0に近いと思ひます

原爆ドームに小学4年生の時に行った時、模型で、被爆した人の身体を再現したものがあって、配られたプリントに、その腕の写真を見た時の、全身うろた、を思い出した。それこそ想像の範囲内か、それか、中、修学旅行で、実際に語り部さんの話を聞いたのを思い出し、改めて、核が怖いと思ひました。

想像もできないような世界が来るとは、たが何一つ間違、とはいえない。先程「良心はあてにならない」と書いたが、あてにならないのはそれを信じている人の方である。今でも考えています。ノベルの「グイグイ」と同じ

理由です

成功しても、しなくても、責任は誰がとるのか
それを何に使うのか、(は)っきりしないとイセだになって思う

クリトビデバにCクリトビを有する事、受け身の子供ののでは、なく希達自身、積極的に思考の行く
必要性を大事にしたい

授業では、私はたくさん知らないことがありました。そして、知らないということは、怖いことだと思いました

本当に必用あるのかを考えてほしいと思ってきました。

2000年前の人に改めて教わるとは思っていません

どこかで「人間外想像できるものは、いつか全て実現できる」とい
う言葉を聞いた事があります。自分はこれについて懐疑的
です。

便利な生活をおくるための新しい技術が悪用されてしまうと、せっかく生かされた技術
も、使われなくなる。しかし、人には考える力があるのだから、解善点を示して、
また新しいものをつくってほしいと思いはる

安全に生活していくために勉強をするのだなと思った

何故それを作るのか、ミイタ時「コント
ロールするためには作るんだ。」という言葉がミミ、そういう考えもあるのかと感動した

この授業で人は大変な問題にがら当たると考えることをやめると習いました。今、まに
私はその状況です。というが、こわくて体が震えています...

100の利益のために90の損害を被っている。しかもその90が1倍になり
うる可能性もあり、相対的にもリスクだ。

ドラマで、完全犯罪をテーマにしたものがあり、これを見た私は「現実でもこんなことが起こるの
かと怖い」と思ったと同時に、「でもドラマになっているからこのトリックは通用しないのか」と
安心したことを思い出しました。

科学の進歩での喜びは恐怖と紙一重ですが、紙一重
にしてしまうのは人間であり、人間は時に恐ろしいと思ってきました。

哲学者が勉強をしたら最強なのではないか? と考えた

1. iPS細胞

時間が進むは目の色を

変えるために交換したり人の部品を作るとき時代が来るのかと考えると生きることはたぶん簡単にかつていくのかなと思う

いつかは、種によって30%の生命ではなく、人間の機械か人を作りあけることは可能になってしまわないかと思ってしまう

山中教授が iPS細胞から子供のマウスを作ったとき 山中教授自身も怖かったと驚いた

もしこの技術を使ってある種の害虫を絶滅させたら、その害虫を捕食する生物が食物がなくなると
せいで絶滅したら、その動物を食物にする生物に影響を受けると、影響が拡大して地球
の生物に~~も~~影響を与える。これは自然のバランスを破壊してしまう。

肝臓からマウスの赤ちゃんができた
というのほと身おどろいた

iPS細胞で作ったネズミは見た目も機能も心も
全て普通にネズミなんだろう。寿命も他の普通のネズミと同じなんですか。

iPS細胞を作る技術を持たない私達が、iPS細胞から生まれたいネズミの存在を恐ろしい
と思うのは至極当然だとは思いますが、教授はネズミが生まれるかもしれないのを知っていたのにな、
実験を行った。本当は期待を込めながら行ったのだと思う。お化け屋敷に行くのと同じ。

研究をしていた山中教授本人が怖かった
と知っているが、私としてはとても不安に感じました。どくどくと進化している技術
と人がおている倫理との間で、科学者は、悩んでいるのかとしかいかと感入りました。

DNAの話を開き、人間の体の中へは自分でも理解が丁寧な作業が行われている

の存在と感じました。その作業に人の手が増えらるというのは、なんなりリスクが高い

DNA操作による産物として、前の赤ちゃんと目の色や肌の色(右)を変えたりするよ

うにわたるおもしろいかもしれないと思ふ。でも母胎に対して影響をわかつない
のでもやはり危険そのかなとも思いました

遺伝子操作の危険性の言をもありましたが、今後は肯定的
に考えていて、人々に良い効果をもたらしてくれるものを
今ののではと感じました

1. ドローン・人工知能・自動運転

ドローン戦争について、これが実現してしまうのは、とてもおそろしいと思いました

○ 人工知能は近い将来人間の知能を起してしまふ可能性が非常に多い。
私たちは人工知能に支配されてしまふ前に人工知能を管理すると言う大きな問題を解決しなければなりません。

交通事故が軽視されがちなのは、人が交通事故を年単位で見ているのではなく一つ一つで見ているから危機意識が低いのだと思う。自分とは関係ない人が起こった事故が1つ、2つとあつても自然災害やテロなどの不測の事態の話題性や恐怖心に勝らない！みたいな、仮設がある。

1月始めの授業で一番印象に残ったことは、交通事故の現状についてです。
今後、運転する機会が増えていくと思うので、周囲を正確にシメガネをかけて運転しようと思います。

ガソリンエンジンやディーゼルエンジンの技術はどうかうなるんだらうなと思ひました。

人間は感覚がすぐれた生物なので、ちやんと機械など（携帯電話とか）は知識を得るに少し誰かに教えてもら、ただけでも扱えてしまひますが、それが自分たちの命をここからおびやかすのかなと思ひました。

車の話は、一番、身近なこのように感じました。自動運転が来たから事故は減るかもしれない、とくか人も減るかもしれない、今と違うというこの恐怖は、ほかのものを感ひました。

人工知能や機械化で何か怖ひのか、「実行」という選択が怖ひかたかと思ひました。

車に乗つて

思うのですが、いきなり故障して、勝手に暴走しようとするのが怖ひです。自動運転になつたら怖ひです。

事件ごとく思ひました。人と同じくらいに年間の交通事故も減つたかと思ひます。そのことをもっと報道し、みんなの記憶にのこしていかなくてはと思ひました。

誰の責任かを論じる前に、実用化するの日はとて怖ひかたかと思ひました。

ドローン戦争の話は私は知りませんでした。
責任者がいないというのは考え深いウケだと
思いました。

人工知能で犯罪が起きた場合人工知能で止められるのかという質
問をVTRで聞いていたが止められなく止めなければならぬと答えたがその通りかと思った。
人工知能の所を人に置き換えればわかることだと思う。

一概に科学の発展が喜ばしいことばかりとは思いません。
自動車の話にも出て来ましたが、特に科学の発展により、失業おの人が
増える問題においては、今まさに始まっています。今の学生が大人に
なる頃には深刻になると思います。その時、どのように対応していくのかは、大変
重要な鍵となると思います。興味がおきました。

人工知能が
人間を越え、人工知能が人間は邪魔だと判断した場合は、人類はどうする(するの
たうらうか)。。。。

事故に遭わせた方々やその家族はわかりま
せんが、私のような交通事故に遭ったことのない人はそれをせいで、便利な
自動車を放棄しようとはならないと思います。ホケモノGoですらなくならない
ので...」ロボットで戦争、まるでゲーム、アニメ、本の中の世界のようなこと
思いました

新たな犯罪が起るのでは? 例えば「車をハッキングして規模な交通
事故を起すなど。もし自動運転の車を導入すれば、基本的には人間が運転し、人間が
交差点を見落している時などに、自動運転がそれをカバーしてくれるのでは」と思っています。

免許を去年の8月に取得しました。自分で運転しているとはよく、
勝手に車が動いてくれたら良いなと話せるくらいあります。なぜなら自分
自分の車を運転することだけに集中してしまい、周りを良く余裕が
ありません
自動運転車だからといって
機械にまかせき、普段運転している時には
したいようなことを、どんどんやっていると、たまには怖いな
と思います。

自動運転

の電車について、どういふ風に決める問題をクリアしたのか疑問に
思いました。私は普段アルバイトに行くために自動運転の電車に
乗っています。その時、たまにぶくと「地震で電車が止まったウレエウレに
逃げろのだから」「逃げろのだから」「逃げろのだから」といふ時間があるのかと不安
に思う時があります。

「マッドサイニスト」との意味を聞いて、Mr. Childrenの「HERO」という曲を思い出した。^{聞いてみて下さい}

人間にとっての害虫は地球にとっての害虫なのか？ はたまた地球からしたら害虫よりも人間の才が害虫なのかもしれない

先生がピラミッドの話をしたので思い出しました。これまでの常識ではピラミッドは奴隷が作ったとされていましたが、実は雇用があったという興味深い話と聞きました。労働者には一定期間の交代勤務の契約としていて、労働者には報酬として毎日ビールとあげているそうです。労働者はビール飲みたさに喜んで働いたらしいです。

「入」範囲が全部と書く先生はあまりいないと思う。もう少し具体的に「入」範囲を生徒に含めるところが広いと思う。その授業内容が「入」範囲というのや生徒にとってとても勉強が楽しくないと思う。教科内容を「入」範囲とせず、もう少し具体的に「入」範囲が「入」範囲の「入」範囲とせず、講義の「入」範囲とせず、勉強が楽しくないと思う。

自分が研究したものがどういうことに使われどういう結果をもたらすのかわからないまま研究をつづけるのは少し無責任な気もするなと思いました。

初めの段階で直近の話だけでなく、未来まで見なければならぬ。ずっと先を考へるのはとても難しいことだが、最も重要なことだと思う。

この授業では「勉強内容をすべて将来使わせない」という考えをいっしょくつ考えさせます。恐いから知らなくてよい、分らないよめでよい、ついでにはよく、自分から理解しに行かなければならぬ。そうしなければ視野を広がらない。という気持ちを持たせたい。理解の大切さを改めて知ることを促します。

どいだけ「入」範囲の「入」範囲を作っても結局は良い事かもしれませんが、増えなければ、その分悪いことも増えてくると思うから、ほんとうに勉強が楽しくないから使わなければいけないと思った個人的に今の生活は十分に便利だし、新しい技術に力をつぎ込むより今の技術への理解を深めよう方が大切なのではないかなと思う。技術に対して人の理解が追いついていない。危険をなくするのは危険に対する理解を深めて、全ての人にそれを共有することが一番平和だと私は思う。

今日の授業が「入」範囲は、改めて自分には関係ないと思われないことの重要さこそが科学の話だから、物理の話だから、と思うのとは違って、この1つの発明や考え方について自分も考へて、意見を持てるのが「必要だ」と思っています。